

令和8年3月31日(火)



稚内海上保安部

うみまる

ザ・もっともきた



最北ねっと 208号

海の「事件・事故」は

118番

海上保安庁 緊急通報用  
電話番号です。

## 宗谷岬灯台の灯りをLED化!

令和8年3月26日(木)、宗谷岬灯台の光源が電球からLEDになりました。明るさは電球に比べて低くなりましたが、LEDは電球よりも効率的に光を照らしたい方向に向けることができるため、光が届く距離は従来と変わりありません。また、宗谷岬灯台には大正元年(1912年)から使い続けているレンズがありますが、このレンズは健在で、これからも宗谷海峡を照らし続けていきます。新旧光源の交換工事に伴い、一時的にレンズを分解・撤去したときの非常に珍しい画像を掲載しますのでご覧ください。



宗谷岬灯台

宗谷岬灯台の灯り (旧→新)

光源	電球 → LED
灯質 (光り方)	群せん白光 毎30秒に4せん光 (変更なし)
光度 (明るさ)	80万カンデラ → 30万カンデラ
光達距離	17.5海里 (約32キロメートル) (変更なし)



灯台用レンズ



灯台用レンズ分解の様子

## 枝幸高校 企業説明会

令和8年3月13日(金)、枝幸高校1、2年生14名に対し、海上保安庁の企業説明会を行いました。

学生に対する説明は、初めに海上保安官の生活や訓練の様子などを公式YouTubeを学生に視聴していただき、興味のある分野などそれぞれ生徒に聞いた後、その分野を細かく説明するなど、今までにない説明方法に挑戦してみました。

学生の反応は、興味のある分野の質問の説明ということもあり真剣に聞いている様子やメモなどを取っている様子も見られ、海上保安庁に少しでも興味を持っていただいたように感じ取れました。

また、本説明会では、当部リクルーターである若手職員巡視船さるべつ航海士補「今村官」が学生に対する説明を担当し、比較的年齢が近いこともあり学生目線に立った説明を行うなど大変活躍していました。



説明会の様子

## 「ドック」

皆様は、ご自身のお車の車検はどのようにされておりますか？

多くの方がディーラーや整備工場等にお問い合わせかと思いますが、その際にご自身も整備作業を行う方は殆どおられないかと思えます。

船舶でも自動車同様、ほぼ3年毎に定期検査や中間検査等の検査が法律で定められており、それらの検査に合格しないと航行させる事ができないため、定期的に「ドック」という修理期間が設けられ、ドック期間中に必要な整備や航行するために必要な検査の受検を行っています。

ただ、自動車と船舶で違うのは、船舶の場合はドック期間中に乗員(海上保安官)が、自分達でできる整備作業は自分達で行うということです。

もちろん、航行に必要な検査受検や、高度な知識が必要な整備については専門の業者さんに作業を依頼しますし、乗員による作業はドック期間以外の通常時でも行っておりますが、ドック期間中は普段行えないような大がかりな整備作業も乗員が愛着をもって行っております。

この日も最高気温が氷点下1度ほどの極寒の中、巡視船りしり乗員が錨鎖の錆落としやペンキ塗り等の船体整備作業を行っており、このように海上保安官は「海を守る」のと同様に「船を守る」ことも大事な仕事となっております。



巡視船船体整備作業

愛します・守ります・最北の海

稚内海上保安部



〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号 (TEL・FAX 0162-22-0118)

ホームページ <https://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>

職員募集・学校訪問・職場体験等お気軽にお問い合わせください!!

